

[横浜市旭区民文化センター]

平成30年度事業報告書

[横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立 共同事業体]

施設の概要

施設名	横浜市旭区民文化センター サンハート
所在地	横浜市旭区二俣川一丁目3番地
構造・規模	鉄骨コンクリート造 地下1階地上6階建の、地上5階および6階の一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 2,564m ²
開館日	平成2年8月4日

指定管理者

法人名	横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立 共同事業体 代表構成団体 株式会社横浜メディアアド
代表団体所在地	横浜市神奈川区栄町5番地1
代表団体代表者	代表取締役社長 三浦彰久
代表団体設立年月日	昭和58年1月22日
指定期間	平成28年4月1日から平成33年3月31日まで

1 基本方針

(1) 基本的な方針

◆地域文化創造をリードする ”Advanced Center” へ

横浜市の区民文化センター第一号施設として、当事業体が管理運営する文化施設の手本として、これまで以上に地域に根付き、市民一体となった活動を中心として取り組んだ。他の文化施設に先立って、市民参加や地域活性を促し、次代に向けた子どもや若者たちの育成を行い、さらには区内の他文化施設との協力で、施設従事者のレベルアップも牽引し、市民文化のレベル向上に寄与できる区文のリーダー的な位置づけを目指した。地域文化の牽引役となることで、地域の自慢、地域への愛着を増幅させられる施設とした。

＜”Advanced Center” 実現のための3つのミッション＞

① 幅広い市民からの共感獲得

多くの市民へ良質な文化芸術の提供と、アウトリーチによる社会的包摂のさらなる推進に努めた。

② 若年層の利用拡大

新規利用者を開拓し、世代にあったアプローチの積極的実施に努めた。

③ 地域・他施設との積極的な連携

連携事業による施設・地域が一体となった活性化と相互レベル向上に向けた取り組みを積極的に実施した。

(2) 平成30年度の位置づけ

1. 事業の方針

平成29年度は、前年度より新たに事業化として取り組んできたイベントが定着化し、安定した施設運営を行うことが出来た。平成30年度には、それらのイベントを更に安定化させるとともに、開館30周年記念事業に向けて、本格的にスタートする年とする。

そのための第一ステージとして、当館のおかれた現状をより一層把握するために、当館利用者及び近隣施設等の協力を得ながら市場調査を実施する。現利用者の隠れたニーズや、将来的に利用者になりうる人々の声を吸い上げ、平成30年度、31年度とステップアップしていく。平成29年度より、すでに子育て中の方を中心にアンケート調査を開始しているが、引き続き調査対象を拡大していく、地域との絆づくりや、地域住民に開かれた施設づくりなどの観点から、地域住民参加型の施設づくりをしていく。

① 交流創造型事業の進化展開

当事業体の大きな成果のひとつに、ワークショップなどの交流創造事業がある。市民の文化活動のきっかけづくりとして始まり、その後持続的な活動に発展させている市民が続出している。さらには参加者同士の交流でコミュニティ活性化にも繋がっている。また、ワークショップ終了後は、発表の場にホールを利用する、ボランティアとして施設運営に係るといった好循環も見られる。今後は、そのような好循環を積極的に後押しする仕組みを継続し、「人材育成活用事業」として進化・定着させていく。

- 演劇ワークショップ修了生

チケットやプログラム配布を担当する「サポートスタッフ」として

- 絵本の読み聞かせ講座修了生

定期的に「おはなし会」を主催し、また館外への派遣依頼にも応じる「読み聞かせボランティア」として

② 施設外への積極的な発信

ワークショップ・オーディション卒業者のアウトリーチでの活用や他施設事業への派遣等を含め、地域内外の活動や、文化イベント・芸術祭等への参加など、サンハートから積極的に外に向かう活動に取り組み、サンハートの発信力を強める。

- 既存の派遣先とのさらなるつながりと新規開拓

区内のコミュニティースペースや障がい者施設、保育園、学校などへ音楽家や読み聞かせボランティアを積極的に派遣する。既に派遣経験のある施設のみならず、需要のある施設の新規開拓に引き続き注力する。

- 派遣事業の積極的なPR

ホームページに専門のページを設け、派遣方法について具体的に発信する。また、地域の様々な団体との接点を増やし、派遣事業についての糸口を模索する。

- 人材共有の仕組み作り

絵本の読み聞かせボランティアの派遣について、定期的に受け入れを実施している施設とは「人材共有」の仕組みを確立し、よりスムーズな運営を実現する。

③ 地域・他施設との新しい連携事業

自治会・商店街等との連携はもちろん、区内の他文化施設や、他区の区民文化センターとも連携を強めるなど、地域・他施設との連携を旭区民文化センターがリードして、地域の課題の共有やその解決を目指す。

- 他文化施設・文化団体との連携

平成29年度より、横浜市旭区・緑区・都筑区の3か所に拠点を構え、障害者自立支援として福祉作業所を運営しているカプカプより、作業所で働く方々にイラストを提供してもらい、ワシコインコンサートのチラシを作成している。

- 他区民文化センターとの共催

類似した公演がある際は、双方連絡を取り合い、公演時にチラシの挟み込みを行っている。

2. 運営の方針

<顧客満足度の高いサービスの提供>

「施設を利用できる時間」、「情報提供」、「利用相談への対応」、「利用者支援」など、利用者・来場者の立場に立ったユーザビリティの高い施設運営を行い、顧客満足度を高める。

<レベルの高い接遇・接客>

安心と信頼の獲得のために、「職員の接遇・接客」に関する研修を行い、職員一人ひとりの“顔”が見える施設を目指す。

<ニーズの把握の徹底と改善への反映>

利用者・区民の声を収集する機会としてアンケート（共同事業体本社バックアップによる）を定期的に実施すると共に、利用者懇話会・各種団体との合同連絡会への参加等を通して利用者と共に課題の抽出や改善に取り組む。

3. 管理の方針

<二俣川駅北口共同ビル管理組合との一体管理>

構成団体である相鉄企業は二俣川駅北口共同ビルの管理組合事務業務と建物維持管理業務を併せて受託しているという利点を活かし、更なる効率的な管理を追求しコストパフォーマンスの高い維持管理を実現する。

<施設予防保全の実現>

「今、施設や設備がどのような状態か」を踏まえて「今後施設や設備はどうなっていくか」について、将来を見据えた予防保全（中長期修繕計画・設備機器更新計画の策定・提案）に取り組む。

2 自主事業に関する計画 (事業フレーム等については【別紙1】に記載)

(1) 文化事業の企画および実施について

事業カテゴリーは、大きく「鑑賞事業」と「機会提供事業」に2分し、さらにそれぞれを分類して、合計5つのカテゴリーに分けて計画、実施する。

鑑賞	<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一流の芸術家による個性的な公演事業 □ トップレベルのアーティストによるサンハートならではの個性的な公演。 □ 大人向けを基本とし、鑑賞をじっくりと楽しんでもらう、特別感のあるコンテンツ。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> □ アンサンブルオーディション最優秀賞受賞組によるクラシックコンサートを開催する。若手ながら優れた演奏力・プレゼンテーション力を持つ演奏家への活躍の場を提供する。 □ 参加者を対象としたアンケートを引き続き実施し、寄せられた意見を事業に反映し、満足度80%以上を目指す。 	<p>[実施内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 育成事業「アンサンブルオーディション」での入賞者や審査員の協力のもと、「アンサンブルフェスティバル」を開催し、普及事業となるアウトリーチコンサートを多数開催した。 □ 各主催事業にて、来場者・参加者アンケートを実施した。 	<p>[達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 合計11組の応募があり、うち最優秀賞受賞1組、優秀賞受賞3組が入賞。聴衆賞、アルソ出版社賞に関しては、優秀賞受賞組（木管五重奏）がいずれも受賞した。 □ アンケート実施状況 平均回収率：53% 平均満足度：91% (※平均満足度は、全体から「回答なし」を除いた場合)
	<p>●普段着の芸術鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 身近で気軽に芸術に触れられる機会を提供。 □ どなたにも楽しんでもらえるよう、低価格で良質なコンテンツを提供する。駅や商店街など、館外 	<ul style="list-style-type: none"> □ デビューコンサートでは、昨年度最優秀賞受賞者を沖縄から招へいし、館内イベントに留まらず、館外での地域コンサートにも大いに奮励していく。 	<ul style="list-style-type: none"> □ デビューコンサートのみならず、館外の地域施設にてアウトリーチコンサートを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 精神障害者作業所型の地域活動支援センターである、喫茶「ゆいまーる」にてアウトリーチコンサートを実施した。
	<ul style="list-style-type: none"> □ 館に足を運ぶ事のできない方々へ向けた「アウトリー」チ事業の充実化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 館に足を運ぶ事のできない方々へ向けた「アウトリー」チ事業の充実化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 今年度新規開拓した施設を含め、演奏会や読み聞かせなど、28回のアウトリーチを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 今年度のアウトリーチは、コンサート系にて4か所、読み聞かせ系にて3か所、合計7か所の新規開拓を行った。横浜市開催の読書活動推進ネットワークフォーラムに参加したこ

	<p>でも展開。</p>		<p>とで、読み聞かせ サポーターの活動 が周知された為、 今後の新規開拓が 期待できる。</p>
	<p>□ 館として定着し始めた「ワンコインコンサート」を引き続き開催し、子供を含め、地域の皆さんに気軽に本格的なクラシック音楽を楽しんでもらえる機会の提供を行う。</p>	<p>□ 計2回のワンコインコンサートを実施し、リピーターとなるお客様もいた。</p>	<p>□ 今年度は2回ともホール開催をし、8月開催分は合計304名、12月開催分は合計206名の来場があった。</p>
機会提供事業	<p>●サンハートオリジナル</p> <p>□ サンハートの育成・交流創造事業としてスタートしたワークショップやオーディション型の事業。</p> <p>□ サンハートの顔として、館内公演やアウトリーチ活動にも積極的に参加する。</p>	<p>□ 人気企画「演劇ワークショップ」では、来年度の区政50周年記念公演に向け、過去2年間の優秀作品を抜粋し、作品と演技の更なる向上を目的としたワークショップと公演を行う。</p>	<p>□ 講師との打ち合わせの結果、参加者の個性を活かすためにオリジナル作品台本を作成し、上演した。また、今年度は語り部コースを設けず、演劇コースのみの実施とした。</p> <p>□ 演劇専用の掲示板に募集告知を行った結果、新規参加者が7名増加し、合計30名の参加者を募ることが出来た。また、参加者による公演告知も多く、公演時には総勢190名の来場者があり、前年度に比べて75名の増加、多くの方々に催しを広めることが出来た。</p>

	<p>□ 「アンサンブルオーディション」入賞者を「サンハートレジデントアーティスト」として広く告知宣伝し、サンハートから館外への発信力を高める。</p>	<p>□ サンハートでの主催事業の他にも、アウトリーチの依頼があった際に、オーディション入賞者を積極的に起用した。また、他の文化施設に対し、レジスタンտアーティスト一覧を配布したこと、アーティストに対する宣伝も行うことが出来た。</p>	<p>□ ワンコインコンサートを含む館内イベントで3組、旭区内に限らず、横浜市内外のアウトリーチには6組のオーディション過去入賞者に出演してもらい、より活躍の場を広げることが出来た。</p>
●私たちのホール	<p>□ 市民が企画や運営に参加するコンテンツ。</p>	<p>□ 昨年に引き続き、「すくすくキッズプログラム」への参加団体（指導者）を募集し、共に事業を盛り上げ、さらに、これからの中継的な利用へと繋げていく。</p>	<p>□ リトミック3回、工作1回、コンサート1回の計5回にわたり、多種多様なプログラムを開催した。また、今年度は新規企画として公募ではなく、講師に直接依頼をし、母親向けのヴォイストレーニングプログラムも実施した。</p>
	<p>□ 事業参加をきっかけとした参加者同士の出会いや交流の場の創出。</p>	<p>□ これまで「区民企画」の一環として実施してきた「名画座」を、独自の企画として新体制での運営を行う。</p>	<p>□ 区民企画委員主体の元、モノクロ邦画2回、カラー邦画1回、モノクロ洋画1回の計4回名画座を開催した。</p>
			<p>□ 上映後に行なう交流会の参加率が上がり、区民企画委員と意見交換することで、次回上映内容の参考にすることが出来た。</p>

	<p>□ 事業終了後も参加者が活動を継続できる仕組みを作る。</p>	<p>□ 企画参加者としてサンハートに関わりを持った方々を中心に「サポートスタッフ」としてサンハートの運営へ携わってもらう仕組みを継続する。</p>	<p>□ 仕組みを継続すると共に、サポートスタッフのスキルアップ向上を目的としたマナー研修を外部講師の元、開催した。</p>	<p>□ 接客応対の基礎を始め、チケットもぎりや遅れ客対応、車いす介助、トラブル対応等の実践を含めることで、今後の活動の基礎固めを改めて行うことが出来た。</p>
	<p>●シーズンイベント(その他)</p> <p>□ 空き施設の有効活用を目的とした企画や季節に合わせたイベントなど、幅広い市民に向けた多分野にまたがるコンテンツ。</p>	<p>□ ホールの時間貸し(ピアノ練習)を行い、施設の有効活用と収入向上に務める。</p>	<p>□ 毎月2～5日間、ホールの空きコマをピアノ時間貸しに利用し、有効活用した。チラシ掲載内容も再度考案し、見やすさを重視したデザインに更新をした。</p>	<p>□ 認識度が高まることで固定客も増え、今年度は新規参加組数を81組増加させることができた。収入も昨年度より153,200円増加となり、収入向上につなげた。</p>
		<p>□ 季節感のある事業、時代感に合ったコンテンツを提供する。</p>	<p>□ 夏休み子ども体験講座として、ハンドベル講座と映画作りワークショップを開催し、ハンドベルについては17名、映画作りについては24名の参加があった。</p>	<p>□ 映画作りワークショップに関しては、制作する楽しさを体感してもらうことができた他、普段関わり合いの少ない年齢層であるボランティアスタッフとコミュニケーションをとることで、子供たちに刺激を与えることが出来た。</p>

	<p>□ 避難訓練コンサートを新規企画として立ち上げ、スタッフの危機管理能力向上、災害に遭遇した際の心構えをお客様に知ってもらうことを目的とし、館で作成した災害対策のマニュアルやガイドラインの実地検証を行う。</p>	<p>□ 横浜市消防音楽隊による演奏、協力の元、避難訓練コンサートを実施した。</p>	<p>□ 一般客 87 名、カルチャースタッフ 10 名、サポートスタッフ 7 名、職員 7 名が参加し、有事の際の対応力を学ぶとともに、旭消防署の予防課長からの講評を元に、危機管理マニュアルを見直すことが出来た。</p>
	<p>□ 新たな収入源として、館内のエレベーター横にレンタルスペースを設置し、作品展示が可能なウェルカムギャラリーを開催する。地域のサークル活動や、過去2年間のアートマーケット参加者の作品発表の場を提供していく。</p>	<p>□ カラーボックスを加工し、鍵付きの陳列棚を4台作成して運用開始した。横浜市内外の公共施設や各種SNS、アートマーケット過去参加者に対して告知を行い、広範囲に新規事業情報が行き渡るよう広報に尽力した。</p>	<p>□ 地元で活動するアーティストをメインに、1年間で合計33台の利用があり、アーティスト自身の活動告知の一助を担うことが出来た。また、収入も合計66,000円となり、収入向上に繋がった。</p>

(2) 地域コミュニティの形成・社会的包摂（ソーシャルインクルージョン）の推進

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>● 地域内の対象施設へダイレクトアプローチを行い、隠れた需要の掘り起こしに務める。</p>	<p>□ これまで「要請」を受けてから企画提案を行う「受注型」だったアートリーチから、より積極的な「企画開発型」へと進化させ、新規アートリーチ先を増やす。</p>	<p>□ アウトリーチを求めている企業向けに設けたHP専用ページをより充実させ、新規開拓に努めた。また、一目でアートリーチ先の需要内容が把握できるよう、アートリーチ用の応募用紙を更新した。</p>	<p>□ 保育園・幼稚園向けに資料を配布したことにより、2園の新規アートリーチ先を開拓出来た。また、アートリーチ先のグループ会社への企業間紹介もあり、館の知名度をあげることにも繋がった。</p>

● 未就学児（特に未就園児）とその親の活動の場としての需要をさらに広げ、地域コミュニティーの形成へと繋げる。	<input type="checkbox"/> 人気企画「すくすくキッズプログラム」や「おはなし会」の実施回数および固定客を増やし、さらに参加者同士のつながりを広げられるような工夫をする。 また、すくすくキッズプログラムから派生した自主事業イベントとして、保護者向けのヴォイストレーニングを企画し、昨年度実施したアンケートを反映した上で、子供主体から大人主体へ参加対象のターゲット拡大を図る。	<input type="checkbox"/> 今年度は5回の「すくすくキッズプログラム」と月1回の「おはなし会」を開催し、リピーターの参加者同士がコミュニケーションを取りやすい雰囲気づくりを行った。	<input type="checkbox"/> 新規企画である保護者向けのすくすくキッズプログラムでは、母親のみならず、父親の参加もあり、羽を伸ばす場、そして親同士のコミュニケーションの場としても大いに役立った。またおはなし会に関しては、平均して毎回15組程の親子が参加しており、安定した参加人数を確保することができた。
--	--	---	---

（3）市民協働、市民主体の活動の支援、地域人財育成及び文化的コモンズ形成の牽引

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
●ともに作る：「区民企画委員」の仕組みを継続する。	<input type="checkbox"/> これまで継続してきた事業について、参加型の要素を加え、更に区民を巻き込んだ企画へと発展させる。	<input type="checkbox"/> 昨年度の仕組みを踏襲し、区民がより運営に参加できるシステムを継続した。	<input type="checkbox"/> 名画座後に行う交流会の参加率が増加し、アンケートだけでは得ることが出来ない密な意見交換をすることができた。
●ともに進める：「運営サポートセンター」の仕組みを継続する。	<input type="checkbox"/> 「運営サポートスタッフ」を増員し、またサポートスタッフ同士の交流や理解向上に向けた研修を実施する。	<input type="checkbox"/> サポートスタッフの増員はなかったが、業務への理解向上のための研修として、外部講師を招き実施した。	<input type="checkbox"/> 今年度の運営サポートスタッフへの研修は、外部講師によるマナー研修及び運営スタッフとしての心得の習得と、避難訓練コンサートを通して、災害

			時の対応力を身に着けることができた。
●ともに育つ：サンハート主催事業から派生した取り組みについて、地域文化に大きく寄与する活動を「共催事業」と位置付け、独自の運営サイクルを確立するまで積極的に支援する。	<input type="checkbox"/> 共催事業を通じて、ホールの将来的な利用者増加に向けた取り組みを工夫する。	<input type="checkbox"/> すぐすぐキッズプログラムやおはなし会などの共催事業を定期的に行つた。	<input type="checkbox"/> 乳幼児を持つ親の間で、当館の取り組みが口コミ等で広がり、事業として定着させることができた。
●ともにつながる：サンハートが地域のためにできることを、利用者・市民・地域・関連団体等とともに検討し、地域課題を解決するアイデアを事業化するプロジェクトを、サンハートが主体となって、地域をリード推進する。	<input type="checkbox"/> インターネットリサーチや紙媒体でのアンケートを活用し、地域における幅広い課題共有と解決策を模索するため、市場調査を本格的に開始する。	<input type="checkbox"/> 類似したイベントを開催している文化施設と情報共有をしたり、市外のアウトリーチイベントの見学を行った。	<input type="checkbox"/> 情報共有することで、該当イベントのニーズをより明確にすることでき、相互の文化施設で課題解決に向け、行動することができた。また、市外のアウトリーチに赴くことで、自館に不足している部分を再確認することができた。

3 施設の運営に関する計画

(1) 顧客満足度の向上について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
◆利用者サービスのさらなる向上に努め利用者ニーズに合わせたサービスを増やす。	<input type="checkbox"/> 施設利用者の発表会を後方支援し、直近のホール・諸室の空き状況を情報コーナーに発信する等により顧客満足度を向上させる。	<input type="checkbox"/> 施設利用者の発表等のポスターやチラシを館内に掲示・配架し、広報支援を行つた。	<input type="checkbox"/> 館内で実施する施設利用者の広報支援はもとより、他館での公演チラシも配架協力をするなど、利用者の芸術活動を積極的に支援した。空き状況については電話対応も含め、利用

			者に対して丁寧な対応に心がけた。
◆アンケートやヒアリング等から区民・利用者のニーズを的確に把握する。	<input type="checkbox"/> 各年実施の利用者アンケートや自主事業等の来館者アンケートをはじめ、ヒアリングの随時実施と年1回利用者懇話会を開催して、ご意見・ご要望を的確に把握してサービス向上に努める。	<input type="checkbox"/> 自主事業実施時の来場者アンケート及び利用者懇話会を継続実施した。また、受付スタッフによるヒアリングを日常的に行った。	<input type="checkbox"/> 自主事業開催時の来場者アンケートでは、事業についての評価および感想を分析するとともに、ニーズを把握し次年度の事業計画に反映させることができた。また、利用者懇話会では、区民企画委員の方からの素直なご意見・ご要望を、今後の活動に反映するよう取り組んだ。
◆サンハート友の会を継続し、会員へのサービス向上と共に強力なサポーターとしての関係作りを図る。	<input type="checkbox"/> 改めてサンハート友の会の会員登録を行い、会員からの声を次年度の事業へ反映させる等施設のサポート的 existence として会の運営を行う。また、会員特典の充実等を図り、会員数増を目指す。	<input type="checkbox"/> 30年度友の会会員（継続・新規）を募集した。会員特典については、二俣川ライフ内飲食店で使用できる割引やサービスを各店舗に協力依頼した。	<input type="checkbox"/> 割引特典を提供し、友の会の会員数は前年度実績並みの90名となつた。

(2) 的確な施設提供の実現について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
◆効率的且つ安定した施設の開館・運営を行う。	<input type="checkbox"/> 開館日数 345日 休館日 20日 年末年始 12月29日～1月3日 施設点検・消防設備点検 14日	<input type="checkbox"/> 開館日数 345日 休館日 20日 年末年始 12月29日～1月3日 施設点検・消防設備点検 14日	<input type="checkbox"/> 臨時の休館等もなく、所期の予定通り345日の開館を達成した。また、施設点検・消防設備点検も計画に沿って実施することができた。

◆利用者アンケートや利用者懇話会からの声を基に満足度向上・利用促進を図る。	<input type="checkbox"/> 様々な媒体を活用し、施設のPRを充実させ稼働率向上に努める。	<input type="checkbox"/> 催し物案内や各種媒体に加えて、フェイスブックやツイッターなどSNSを使用した情報発信を実施した。	<input type="checkbox"/> SNSを使用することで、その時の販売状況等に応じ、タイムリーな情報を発信することができた。
◆施設利用者へ専門的な利用方法等効果的なアドバイスを行う。	<input type="checkbox"/> 舞台技術を含め、専門性をもった職員が常駐して、利用者からの相談・下見・利用打合せをはじめ、トラブル等緊急時にも迅速に対応する。	<input type="checkbox"/> 舞台技術（音響・照明）の専門職員が常駐し、利用者の相談に丁寧に応えるとともに、利用に際してきめ細かなプロデュースを行った。	<input type="checkbox"/> 舞台技術担当職員の技術の高さ、真摯な対応に対してご利用者からお褒めの言葉をいただきたり、来場者アンケートにも音響・照明などを評価する回答が少なくなかった。
◆周辺施設と連携して地域全体の賑わい作りに貢献する。	<input type="checkbox"/> 二俣川ライフ、二俣川駅周辺商店街、二俣川駅、並びに相鉄線全駅との連携事業を展開していく。	<input type="checkbox"/> 二俣川駅北口「二俣川ライフ」と連携し、「友の会」事業などを実施、推進した。また、二俣川駅周辺の商店会が実施した「旭区落語・演芸まつり」に協力した。	<input type="checkbox"/> ビル商店会との連携で「友の会」を推進し、相互の集客向上を図ることができた他、地元の商店会に協力した「落語まつり」では、演芸による地域の賑わいを演出した。
◆施設を有効活用し、施設の魅力作り・活性化を図る。	<input type="checkbox"/> 予約システムで閲覧できない、直近1ヶ月以内のホール・諸室の空き情報を更新し、施設内に発信する。	<input type="checkbox"/> 過去に実施した「ロビーコンサート」に、よりお客様の声を反映させて始動した「ワンコインコンサート」では、抽選後の空き施設を活用した。同じく空き施設を活用した「ホールでピアノ」やサンハート会議室を使用した「美音倶楽部」など、館内スペースを	<input type="checkbox"/> 館内スペースを有効利用して実施した自主事業等はいずれも好評を得、年間を通して多数の来場者を獲得した。
◆利用者へ施設のホール・諸室の空き情報をリアルタイムで広く発信する。			<input type="checkbox"/> リアルタイムな情報発信に努めるとともに、ネットユーザーではないご利用者（特に高齢者）については電話、窓

		有効に活用した。また、館内に数ヵ月にわたる各室場の予約状況を掲出し情報提供を行った。	口で丁寧な情報提供や相談に対応した。また新予約システムについては、さらに丁寧な対応をこころがけ、安定した運用に努めた。
--	--	--	---

(3) 的確な広報の展開について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
◆地域・区民の文化芸術情報発信拠点としての役割を担う。	<input type="checkbox"/> 情報コーナーでは、文化芸術資料として、雑誌・図書・情報誌を設置するほか、類似の他施設情報の紹介を行うなど様々な文化芸術情報を得る事ができるスペースとして整備する。	<input type="checkbox"/> 文化芸術関係の図書類を情報コーナーに配架し、情報誌等については常に最新刊を閲覧できるよう配置にも工夫をした。情報コーナー周辺には、横浜市内はもとより神奈川県内各地域の公共施設情報なども用意した。	<input type="checkbox"/> 情報コーナー(無料スペース)については、施設ご利用者のみならず、多数の一般来館者の方々(月平均約1,000人)にもご利用いただいた。「催し物案内」の掲載方法を工夫することで、手に取るお客様も多く、広告の掲載も行った。交通広告・地域情報紙などを有効に活用し、自主事業の集客に貢献することができた。
◆情報の内容により、最適な媒体・手段により、効率的な広報・宣传活动を実施する。	<input type="checkbox"/> 毎月の催し物案内発行、ホームページのリアルタイムな更新をはじめ、当事業体ならではの媒体(交通広告・広報紙等)を有効に活用しPRを行う。	<input type="checkbox"/> 每月発行の「催し物案内」では、発表系施設の催しや自主事業などの情報を、分かりやすく掲載するよう、工夫した。預りチケットの一覧を載せ、貸館公演についても、販売促進に努めた。また、当事業体ならではの媒体(交通広告、地域情報紙等)を適宜活用し、適切かつ積極的なPRを実施した。	

(4) 専門性と区民の力を統合する組織づくりについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
◆事業企画・施設管理・舞台技術の経験・実績豊かな職員・専門スタッフと、区民をはじめとした地域スタッフを配置し、全ての職員が適切なコスト感覚、効率的管理とホスピタリティ精神をもった運営を行う。	<input type="checkbox"/> 以下の通り人員を配置し運営する。 【運営スタッフ】 ※2交代、常時2名以上配置 館長 1名 副館長 1名 職員 5名 【舞台技術】 ※利用状況により2~4名 職員 4名 【受付スタッフ】 カルチャースタッフ 13名（地域採用）	<input type="checkbox"/> 【運営スタッフ】※2交代、常時2名以上配置 館長1名・副館長1名・職員5名 【舞台技術】 職員4名※利用状況により1~3名 【受付スタッフ】 カルチャースタッフ13名総勢24名のスタッフが常時5名以上で運営している。	<input type="checkbox"/> 運営スタッフ7名、舞台技術の専門スタッフ4名、さらに横浜市旭区民文化センターとしての受付業務に習熟したカルチャースタッフ13名との相互協力により、円滑かつ効率的な管理運営を行った。
◆職員・スタッフの施設運営スキルアップのために研修を実施する。	<input type="checkbox"/> 機材研修、個人情報研修、消防訓練等を実施し、運営に役立てる。	<input type="checkbox"/> 消防・防災訓練、個人情報保護研修等を実施した。また、指定管理者研修、各種セミナーに参加した。	<input type="checkbox"/> 消防・防災訓練および個人情報保護研修を実施した。また、指定管理者研修等に参加することで管理運営面でのスキルアップに努めた。

4 施設の管理に関する計画

利用者が安心して利用できるよう快適な環境作りを目指し、安全性、防犯性について最大限の配慮をする。サンハートは開館から28年を迎える、設備全体が老朽化してきている。それらの状況を踏まえた上で、施設の運営に支障をきたさぬよう維持管理に努める。

(1) 安全で効率的な維持管理・予防保全について

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
◆安全・安心できる施設の維持 ◆定期的な設備点検 ◆必要に応じた緊急点	<input type="checkbox"/> 設備等保守管理項目を遵守し、定期的な施設点検を実施する。 <input type="checkbox"/> 老朽化した建築、設	<input type="checkbox"/> 施設・設備保守管理を的確に行うために、定期的に施設点検を実施した。 <input type="checkbox"/> 開館後27年を経て定期的に施設点検	<input type="checkbox"/> 設備保守管理として、施設・設備の定期点検を実施し、安全な施設の維持に努めた。

検	備のリスクマネジメント評価を行い、修繕計画の適正化を図る。	老朽化した施設・設備の修繕すべきところを緊急度合に応じて、音楽ホール調整室防火シャッターの補修工事及びカルチャーワーク前トイレ洗面台下部修理を行った。	及び建築物点検マニュアルに準拠した点検を実施した。また、施設・設備の破損・汚損・故障などの発生に際しては迅速に対応した。なお、緊急性が高く安全面から、音楽ホール調整室防火シャッターの補修工事及びカルチャーワーク前トイレ洗面台下部修理を行った。
◆施設設備の予防保全	<input type="checkbox"/> 月1回の定期的な施設点検の他に、建築物点検マニュアルに準拠した点検及び建築物定期報告に準拠した点検を年1回行う。		

(2) 快適な環境の維持管理について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
◆安心できる環境の維持	<input type="checkbox"/> 清掃項目一覧及び清掃内容一覧を遵守し、日常・定期清掃を実施する。 <input type="checkbox"/> 美観を維持するように取り組む。 <input type="checkbox"/> 環境に配慮し、廃棄物の発生抑制に努める。 <input type="checkbox"/> 空気環境測定(VOC等含む)を実施する。 <input type="checkbox"/> 社内による、業務の品質管理点検を実施し、特別清掃・日常清掃の計画を策定する。 <input type="checkbox"/> ヨコハマ3R夢など市の施策や事業に協	<input type="checkbox"/> 日常清掃、定期清掃を計画どおり実施した。 <input type="checkbox"/> 職員・スタッフ全員が常に整理整頓を心がけ、快適に利用できるよう努めた。また、照明器具をLEDに交換し、照度の改善に努めた。 <input type="checkbox"/> 館内にはごみ箱を設置せず、ご利用者はごみの持ち帰りを促した。 <input type="checkbox"/> 受付カウンターおよび事務室内のごみについて減量化に努めるとともに、ごみ分	<input type="checkbox"/> 各清掃をもれなく実施し、快適な環境保持と美観の維持に努めた。 <input type="checkbox"/> 情報コーナーの各テーブルに観葉植物と生花を配置し、館内を明るくソフトな雰囲気にした。また、照明器具をLEDに交換し、明るさを改善した。 <input type="checkbox"/> ごみ箱の撤去により、ごみの減量化に対する来館者の意識を高めると共に、事務室内のごみ減量に努め、確

	<p>力する。</p> <p>□ 空気環境測定結果の報告書を作成する。</p>	<p>別を徹底した。</p> <p>□ 館内の空気環境測定を毎月実施し、報告書を作成した。</p>	<p>実な分別廃棄を実施した。</p> <p>□ 毎年、サンハートの中庭にゴーヤ栽培を実施して、好評を得たが、今年度は横浜市のグリーンアップ作戦によるゴーヤや花の植栽が実施され、水やり等に協力した。</p> <p>□ 空気環境測定、害虫駆除（防除）水質検査（レジオネラ菌）などを定期的に実施し、安心して利用できる環境づくりをした。</p>
--	---	---	---

5 その他の計画

(1) 危機管理対策について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>◆緊急時の対応</p> <p>◆利用者の安全・安心を確保</p> <p>◆防災管理</p>	<p>□ 緊急内容別（事故、犯罪、火災、設備故障など）に連絡網の整備を行う。</p> <p>□ 大規模災害等が発生した場合は、行政機関との連絡・協力を円滑に行えるよう訓練等を通じて体制を整える。</p> <p>□ 平成24年度に作成した「帰宅困難者</p>	<p>□ 緊急時連絡網を整備・作成し、旭区に提出した。</p> <p>□ 9月の休館日に、全ての避難口と防災設備の確認と帰宅困難者を受け入れる場合の実技訓練と備蓄品の確認を行った。</p> <p>□ 当館職員およびスタッフは、相鉄線沿</p>	<p>□ 帰宅困難者一時滞在施設として、緊急時に円滑に機能するよう、全職員・スタッフが災害対策訓練に参加了。併せて備蓄品の確認を行った。</p> <p>□ 受付カルチャースタッフ13名と職員4名は、旭区在住ないし相鉄線沿</p>

	<p>一時滞在施設」としての運用マニュアルに基づき訓練を実施し、緊急時に備える。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 緊急時の連絡網を作成するとともに旭区役所へ提出する。 □ 近隣在住職員をあらためて確保する。 □ 事故、犯罪及び火災等を発生させない為に、職員による定時巡回を実施する。 □ 消防計画書を作成する。自衛組織を結成し、日常の防火・防災に努める。催事の際は、避難導線の確保等の指導を行う。消防計画書および緊急時対応マニュアルに基づき年2回防火・防災訓練を実施する。 □ 災害時の対処方法を体験し、防災や安全について利用者と一緒に考える事を目的とした避難訓練コンサートを実施する。 	<p>線在住者を中心に採用し、万が一の際に迅速な対応ができるよう備えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 防災センター警備員による定時の巡回に加え、隨時当館職員・スタッフが館内を巡回し、異常を早期発見・早期対処できるよう努めた。 □ 消防計画書を作成し、日頃より防火・防災に努め、安全確認のチェックを日々行った。また、催事の際には利用団体の責任者に対し、事前に避難誘導確保についての指導を行った。 	<p>線在住者で構成されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 各職員・スタッフが適宜館内を巡回および事務室内モニターにて各室場内を確認し、安全・安心の確保に努めた。 □ 消防計画書を作成し、年間2回の防災訓練を実施した。また、当館が入居している共同ビル全体の緊急地震速報対応および消防訓練、救命講習に参加するなど、訓練を重ねることにより職員・スタッフの意識を高め、緊急時に迅速・的確な対処ができるよう備えた。
--	---	---	---

(2) 自己評価・P D C Aサイクルの活用について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
◆日報及び月報の作成・管理（業務記録の整備）	□業務記録の適正な作成・保管と共に重要な件に関して随時報告を行う。	□日々の業務内容を業務管理日誌、業務週報に記載し、情報の共有と周知を図った。	□業務管理日誌を通じて日々の業務に関する職員間の情報共有の徹底に努めた。また、受付スタッフに対しては常用連絡ノートおよびミーティング議事録の回覧などを用いて情報共有、連絡強化を図った。
◆業務計画書及び業務報告書の作成・管理（利用者のニーズや声を反映した業務計画の策定）	□P D C Aサイクルの推進とともに重要な件に関して随時報告出来る体制づくりに取組む。	□月報の形式で毎月の運営管理報告を作成し、毎月旭区および共同事業体への報告を行った。	
◆モニタリングの実施（モニタリングへの対応・体制の整備）	□業務記録の一元管理によるモニタリングへの対応・体制を構築する。	□「平成30度事業計画書」および「平成29度業務報告及び収支決算」を作成し旭区役所に提出した。	□モニタリングでは運営管理業務実績の報告及び業務に関する打合せを実施し、施設・旭区との情報共有、協力体制の構築を図った。
◆自己評価の実施（P D C Aサイクルの導入と確実な運用）	□利用者アンケートの結果や利用者の声を、常に自己評価に反映させながら施設運営に取組む。		□毎月定期的に運営・技術職員が参加する、全体ミーティングを実施した。職員各々が報告・確認・提案などをを行い、施設の運営管理および自主事業実施にあたっての問題を検討しながら最適な選択を行った。

6 収支について

（1）経費削減の努力について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
◆管理運営コストの削減に努める。	<input type="checkbox"/> 無駄な光熱水費の削減と、業務効率化等による無駄なコストの削減に努める。しかし、利用者の満足を阻害するようなサービス低下につながる必要コストの削減はしない。 <input type="checkbox"/> 軽易な修繕については職員自ら行い、修繕費を有効に活用する。	<input type="checkbox"/> 館内照明や冷暖房のこまめなオン・オフを行い光熱水費の削減に努めた。 <input type="checkbox"/> 当館常備の楽器（ドラム・シンバルなど）の定期的な手入れや（ハンドベル等の）軽微な修繕は極力職員の手で行い修繕費の経費抑制に努めた。	<input type="checkbox"/> 光熱水費については削減に努めたものの東日本大震災以来電球・電灯の間引きを行っていたが、興行法立ち入り検査で照度不足を指摘され、すべての間引きをやめたこと等により水光熱費は、前年度比 9.6%の増となつた。

(2) 収入向上の努力について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
◆収益向上、適正な受益者負担を設定し、外部資金獲得に努める。	<input type="checkbox"/> ホール・諸室の空き状況をホームページにてリアルタイムに公開し、収益の向上を図る。 <input type="checkbox"/> 魅力的な事業を実施し、入場料収入を最大限に確保する。 <input type="checkbox"/> エレベーター横にウエルカムギャラリー（レンタルボックス）を新設し、その他収入の確保に努る。	<input type="checkbox"/> 館内施設の空き状況については、館内に掲示した。 <input type="checkbox"/> ホールの空きコマを有効利用するため好評な「ホールでピアノを弾いてみませんか？」という企画を引き続き実施した。 <input type="checkbox"/> 繼続して実施してきた「あさひ亭まねき寄席」や「あさひ名画座」、「夏休み子ども講座」、「バレンタインコンサート」などは引き続き好評で集客に寄与した。	<input type="checkbox"/> 高い施設利用率を維持するとともに、ご利用者の利便に寄与することができた。 <input type="checkbox"/> 普段ホールを利用しないお客様にもホールを活用してもらつただけでなく、収入向上に繋がつた。 <input type="checkbox"/> 集客力の高い魅力的な自主事業を多数実施したことで、自主事業収入は当初予算を 2.1%上回つた。

■ 催し物案内へ申込

		<input type="checkbox"/> 催し物案内へ広告掲載情報を掲載した。	みのあった広告を掲載した。
--	--	---	---------------

(3) 収支予算 決算書

項目	予算額	決算額	増減額	備考
収入				
指定管理料収入	105,743,000	105,743,000	0	
利用料金収入	28,821,000	30,534,290	1,713,290	
事業収入	6,489,000	6,625,229	136,229	
その他収入	1,786,000	1,243,684	-542,316	
収入合計	142,839,000	144,146,203	1,307,203	

支出				
人件費	68,844,000	70,771,730	1,927,730	
事務費	4,367,000	4,471,111	104,111	
事業費	8,604,000	6,864,254	-1,739,746	
管理費	56,412,000	57,246,222	834,222	
公租公課	12,000	5,000	-7,000	
事務経費	4,600,000	4,600,000	0	
支出合計	142,839,000	143,958,317	1,119,317	
収支差額	0	187,886	187,886	

【別紙1】

【自主事業フレーム】

1. 鑑賞事業	一流の芸術家による事業	「ジャズライブ」「デビューコンサート」
	普段着の芸術鑑賞	「あさひ亭まねき寄席」「ワシコインコンサート」「ジャズライブ for KIDS」「アウトリーチ」
2. 機会提供事業	サンハートオリジナル	「演劇ワークショップ」「レジデントアーティスト」「スガダイローソロコンサート」「サンハートアンサンブルオーディション」
	私たちのホール	「読み聞かせサポーターによるおはなし会」「すくすくキッズプログラム」「美音俱楽部」「サンハート運営サポートスタッフ」「区民企画委員」

	その他シーズンイベント	「オープンデー」「ホールでピアノを弾いてみませんか?」「夏休み子ども講座」「避難訓練コンサート」「ウェルカムギャラリー」
--	-------------	--

【自主事業一覧】

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (講座参加 者数)
1-2	3月	ジャズライブ	ホール	人気No.1ジャズドラマ 一大坂昌彦をはじめ、人 気ミュージシャンによ るこの日限りの特別プ ログラム。	一般3,000円 (当日3,500円) 高校生以下2,000円 (当日2,500円) ペア券5,000円 (前売りのみ)	243名
1-3	10月	デビュー コンサート	ホール	アンサンブルオーディ ション最優秀賞受賞組 による、良質なクラシッ クコンサート。	一般1,000円 (当日1,200円) 高校生以下800円 (当日1,000円)	123名
2-1	計3回 (4・7・1 月)	あさひ亭 まねき寄席	ホール	著名な真打ちや若手落 語家による公演。1月は 65回記念公演のため、 若者にも人気の出演者 を起用し、若年層の開拓 に努めた。	[4月] [7月] 一般2,000円 (当日2,200円) 中学生以下1,000円 (当日1,200円) ペア券3,500円 (前売りのみ) [1月] 一般2,500円 (当日2,700円) 中学生以下1,500円 (当日1,700円) ペア券4,000円 (前売りのみ)	[4月:63 回] 125名 [7月:64 回] 269名 [1月:65 回] 282名

2-2	計 4 回 (8・12・ 月、1 日 2 回公演)	ワンコイン コンサート	ホール	若手音楽家によるクラ シックアンサンブルの コンサート。1 日 2 回公 演で、午前の部は乳幼児 も参加可能とし、誰もが 気軽に音楽に触れられ る機会を提供した。	各回 500 円	[8 月] 午前 153 名 午後 151 名 [12 月] 午前 107 名 午後 99 名
2-3	11 月	ジャズ for KIDS	ホール	未就学児やその親を対 象とした親子のクリス マスコンサート。森下滋 トリオにより、大人も子 供も楽しめるジブリの 名曲をジャズで演奏し た。	一般 1,500 円 (当日 1,700 円) 小学生以下 500 円 (当日 700 円)	185 名
2-4 ア	計 29 回 (学校 4 回 福祉 2 回 その他 23 回)	アウトリーチ	旭区内 各所	小学校や福祉施設等へ、 出前コンサートやワー クショップを届けた。オ ーディション受賞者へ の演奏機会提供の場も 兼ねた。	無料	延べ 1300 名
3-1	計 12 回 5・6・7 月	演劇 ワークショッ プ	ホール カルチ ャー工 房	講師に文学座の松井工、 特別講師に横浜夢座の 五大路子を迎え、演劇を 通じたコミュニケーションの スキルアップを 目指したワークショッ プを開催した。	一般 24,000 円 学生 18,000 円	来場者 190 名 出演者 30 名
3-2	9 月	ジャズソロコ ンサート	ホール	ジャズピアニストのス ガダイローによるソロ コンサート。	一般 2,000 円 (当日 2,500 円) 高校生以下 1,000 円 (当日 1,500 円) ペア券 3,500 円 (前売りのみ)	109 名

3-3	10月	サンハートアンサンブルオーディション／レジデントアーティスト	ホール	地域のアマチュア音楽家や近隣の音大生を対象に、器楽を中心としたアンサンブルのオーディション。入賞者は、主催事業での出演機会提供の他、アウトリーチ事業への参加アーティストとして、地域へ積極的に広報を行った。	一組 5,000 円	11組
4-1	通年 (月1回)	読み聞かせサポートによる「おはなし会」	ホール ロビー	未就園児とその保護者を対象とした絵本の読み聞かせ会。サンハートの読み聞かせ講座を修了した「読み聞かせサポート」が企画運営を担当した。館外からの依頼も積極的に引き受け、絵本の読み聞かせを通じた地域貢献を目指した。	無料	延べ443名
4-2	通年 ディレクター(月1回)	すくすくキッズ プログラム	ホール	乳幼児を対象に、初めて音や絵と触れ合う機会を提供。すくすくキッズディレクターを募集し、ディレクターとサンハートとの共催の運営とした。	一組 500～700 円	延べ559名
4-3	通年 (月1回)	美音俱楽部	会議室	サンハート独自の真空管アンプを使った会員制のレコード鑑賞会。	1時間 100 円	登録会員 13名 延べ利用 人数 126名
4-4	通年	運営サポート	ホール			登録9名

4-5	通年	区民企画委員	ホール 会議室	区民の目線を通してサンハートならではの企画をプロデュース。「バレンタインコンサート」と「名画座」の企画運営を行った。	[名画座] 一般 700 円 (当日 800 円) [バレンタイン] 一般 2,500 円 (当日 2,700 円) ペア券 4,000 円 (前売りのみ)	[5 月名画座] 173 名 [9 月名画座] 193 名 [11 月名画座] 141 名 [2 月バレンタイン] 188 名
5-1	8 月	オープンデー	全施設	全館で無料や低価格のイベント、さらに市民参加型の催しを行い、普段サンハートを利用しない方や家族連れが気軽に施設に立ち寄ってもらうきっかけを提供了。	一部有料	延べ約 1,300 名
5-2	通年	ホールでピアノを弾いてみよう	ホール 音楽ホール	サンハートホールや音楽ホールのフルコンサートグランドピアノを1時間単位で試演できる企画。	1 時間 2,000 円 2 時間 3,800 円	延べ 585 名
5-3	8 月	夏休み子ども体験講座（ハンドベル／映画作り）	ホール 音楽ホール カルチャーアー工房 ミーティングルーム	夏休みの数日間～1週間、サンハートに集まった小中学生で一致団結し、集大成となる催し物を開催する。（ハンドベル発表会／ショートムービー上映会）	ハンドベル 4,500 円 映画作り 4,500 円	ハンドベル 17 名 映画作り 24 名

5-4	5月	避難訓練コンサート	ホール	コンサート最中に地震が発生した事を想定し、避難訓練を目的としたコンサートを実施した。旭消防署にも協力をいただいた。	無料	一般 87名 カルチャースタッフ 10名 サポートスタッフ 7名 職員 7名
5-5	通年	ウェルカムギャラリー	エレベーター横	エレベーター横にある窓際にレンタルスペースを設置し、宣伝ツールとしても利用できる自分だけの小さなギャラリーを開いてもらった。	1ボックス 2,000円	延べ33台 利用
6-1	通年	サンハート友の会		固定顧客層への優遇体制を整え、顧客満足度向上を図る。	年会費1,200円	90名
6-2	通年	備品購入 郵送費		チラシ用のカラーペーパー購入費や、他館へのチラシ発送代など。		
6-3	通年	取材 打合せ諸経費		その他諸経費		

※入場見込数について

基本的には来場者数を記載しているが、ワークショップ型のイベントなど、観客以外にイベント参加者が見込まれる場合は、参加見込数を括弧内に記入し、一般観客数を入場見込数として表示している。

※オープンデーについて

オープンデーの一環として、親子コンサート（ワンコインコンサート）とアートマーケット、おはなし会を実施した。各事業の経費にはオープンデーの回の分も含めた金額が計上されているため、オープンデーの経費として、ワンコインコンサートは含めていない。ただし、来場者数については、延べ人数とするため、双方のカテゴリーにそれぞれ計上している。

平成 30 年度 利用者懇話会(議事録)

日 時 : 平成 31 年 2 月 21 日(木) 19:30~20:30

場 所 : ミーティングルーム A

対 象 者 : サンハート区民企画委員(4 名)

出 席 : 館長以下2名

館 長 本日は当館の利用者懇話会にご出席いただきありがとうございます。

この懇話会は毎年行っており、皆さんのご意見を今後の施設管理・運営に役立たせて
いただきます。

ご出席の皆様の忌憚のないご意見・ご要望をお聞かせください。よろしくお願ひいたし
ます。

1. 告知について

- イベント告知のルートがない。サンハート催し物が一目瞭然で分かるものが必要。区民文化センターであるのに、公共の場のイベント告知スペースが小さい。現在はライフ 2F エレベーター横の花屋の前の掲示板スペースである。もっと分かりやすい場所に設置してほしい。
- 利用客に年配の方が多い。色々な世代が利用出来る場所としての認知度が低い気がする。
- 町内会との繋がりはないか? 宣伝協力をしてもらうべきである。
- 自治会の回覧板利用が気軽に出来るのはおかしい! あくまでもサンハートは区民文化センターであり、地域のお客様に手頃な金額で文化芸術を提供している場所である。主催公演のチラシのみは、認めてもらうべきである。
- 横浜市には“ふれあい伝言板”と“まちの掲示板”がある。現在は撤去が進んでいる。今は町内会の掲示板の効果がある。サンハート主催事業ものに限り OK にしてもらえないか。
- 老人会に主催公演のチラシを配布したら、サンハートで行う催しを初めて知る人が何名かい
た。認知度をもっと広めるべきである。
- 横浜市の文化施設、区役所、地域周辺のケアプラザ、地区センターにサンハートのチラシを
毎月発送し、配架しているそうだが、果たして本当に配架してもらっているのだろうか。平済
みチラシで配架されていても意味がない。一度、本当に送って意味のある施設であるか難し
いとは思うが、確認すべきである。

- タウンニュースなどの効果は大きいが、掲載料が高い。プレゼント形式で(5組 10名様ご招待)企画しても載せてもらうべきではないか。
- 郵便局で、2週間2,000円でチラシを置かせてもらえるPR出来る場がある。利用してみるのはいかがか。
- ジョイナステラスの中にサンハートの掲示を置けないか。

2.施設について

- サンハートのホールの椅子が固い。ずっと座っているのがつらいと言う声をよくアンケートでも見かける。
- ホールのスクリーンの位置をもう少し上げてほしい。映画上映会をすると字幕の位置が低くなってしまう。改修工事の予定があれば、是非考えていただきたい。
- 公演中に温度問題(「暑いから空調を下げてほしい、寒すぎるから空調を上げてほしいなど」)が必ず起きる。お客様にも分かるように場内の温度(と湿度)が分かる様に設置すれば、納得する人もいるはず。デジタル時計の大きさくらいに分かる様に見ることが出来るのが理想。
- お手洗いもつときれいに利用したい。手洗い場を自動にしてほしい。

3.他の施設について

- 桜木町ぴおシティ(青少年交流・活動支援スペース)は学生が多い。自習スペースがあり、漫画・ゲームも置いてある。年配者はむしろ少ない。
- 中区の施設で10年程前に、“デジタルお絵かき WS”を夏休みに行っていた。最新のプログラムを5つくらい行っていて、どれも満員だった。
- あざみ野市民ギャラリーでは、アート系の新鮮なプログラムを行っているイメージがある。サンハートでも行えば、今までとは違う年代を呼び込めるのではないか。

4.施設の方針について

- サンハートを地区センターのグレードアップ版としての施設とするのか、文化芸術発信施設とするのか、立ち位置が分からないので、利用者も固定客になっているのではないか。
- 旭区の文化的な中心地になるべき。立ち位置があいまい。知っている人は知っているが、知らない人は全く知らない。サンハートに行ったことがなくても知っている状態にすべき。

5.自主事業について

- 市民活動が出来るプログラムを主催で広げてほしい。
- 今後、相鉄線の影響で旭区も発展すると考えられる。若い人がもっと増えるはず。そのターゲットを逃さないイベントを行うべき。
- 芸能人・著名人・文化人を呼べないか。年に 1~2 回その様なイベントを行わなければ、地区センターなどとの差別化は難しいと思う。
- 過去に假屋崎省吾さんがサンハートでイベントを行った際に、6,500 円チケットが 2~3 時間で売れた。
- 地域の商業施設と連携してタイアップ企画をするのはどうか。公演付きサイン会などくまざわ書店協力で行う、スタジオアリスの協力を得ては地域のハロウィン(コスプレ)大会をホールで行う…など。
- 辻野 隆三さん(元プロテニス選手)が二俣川の西友の屋上にあるテニスのコーチをしている。(荻野目洋子の旦那さん、松岡修造が嫉妬した人)著名人のイベントを行ってはいかがか。
- ボクサーの八重樫さんも地域の有名人である。
- 実用書で有名になった人(健康、糖尿病気をつける、食事と運動、NHK にてていた)企画の講演会を開催するのはいかがか。
- 50 人くらいで採算が合うような企画を開催してみるのはいかがか。

6.将来性について

- 主催だけではなく、利用する団体が同じで、新しい団体がなく、毎年同じ公演を行っている気がする。ワクワク感がない。
- 地域で活動している人が固定化されず、活気良く利用してもらえる場所にする。

館 長 貴重なご意見・ご要望をいただきありがとうございました。予算等から直ぐに実施することが困難なこともあるかと思いますが、本日いただいたご意見・ご要望を踏まえ、館の運営に当たって参りたいと考えています。本日はありがとうございました。

以 上

平成30年度 「旭区民文化センター」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	105,743,000		105,743,000	105,743,000	0	横浜市より
利用料金収入	28,821,000		28,821,000	30,534,290	△ 1,713,290	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	482,000		482,000	620,000	△ 138,000	
自主事業収入	6,007,000		6,007,000	6,005,229	1,771	
雑入	1,786,000	0	1,786,000	1,243,684	542,316	
印刷代	756,000		756,000	228,360	527,640	
自動販売機手数料	600,000		600,000	524,005	75,995	
駐車場利用料収入			0		0	
その他（）	430,000		430,000	491,319	△ 61,319	
収入合計	142,839,000		142,839,000	144,146,203	△ 1,307,203	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	68,844,000	0	68,844,000	70,771,730	△ 1,927,730	
給与・賃金	68,844,000		68,844,000	70,771,730	△ 1,927,730	
社会保険料			0		0	
通勤手当			0		0	
健康診断費			0		0	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額			0		0	
事務費	4,367,000	0	4,367,000	4,471,111	△ 104,111	
旅費	36,000		36,000	49,130	△ 13,130	
消耗品費	300,000		300,000	300,000	0	
会議賄い費	89,000		89,000	11,100	77,900	
印刷製本費	828,000		828,000	840,322	△ 12,322	
通信費	672,000		672,000	626,082	45,918	
使用料及び賃借料	152,000	0	152,000	151,524	476	
横浜市への支払分	152,000		152,000	151,524	476	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	876,000		876,000	1,021,604	△ 145,604	
図書購入費	260,000		260,000	260,000	0	
施設賠償責任保険	234,000		234,000	233,140	860	
職員等研修費	90,000		90,000	158,522	△ 68,522	
振込手数料	4,000		4,000	3,328	672	
リース料	776,000		776,000	766,359	9,641	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	50,000		50,000	50,000	0	
事業費	8,604,000	0	8,604,000	6,864,254	1,739,746	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	482,000		482,000	620,000	△ 138,000	
自主事業費	8,122,000		8,122,000	6,244,254	1,877,746	
管理費	56,412,000	0	56,412,000	57,246,222	△ 834,222	
光熱水費	12,962,000	0	12,962,000	13,977,500	△ 1,015,500	
電気料金	7,630,000		7,630,000	8,473,360	△ 843,360	
ガス料金	3,033,000		3,033,000	3,071,221	△ 38,221	
水道料金	2,299,000		2,299,000	2,432,919	△ 133,919	
清掃費			0		0	
修繕費	2,100,000		2,100,000	1,782,051	317,949	
機械警備費	0		0	0	0	
設備保全費	41,350,000	0	41,350,000	41,486,671	△ 136,671	
空調衛生設備保守	17,498,000		17,498,000	17,646,120	△ 148,120	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	23,852,000		23,852,000	23,840,551	11,449	
共益費			0		0	
公租公課	12,000	0	12,000	5,000	7,000	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税	12,000		12,000	5,000	7,000	
その他（）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	4,600,000	0	4,600,000	4,600,000	0	
本部分	4,600,000		4,600,000	4,600,000	0	
当該施設分			0		0	
ニーズ対応費	0		0	0	0	
支出合計	142,839,000	0	142,839,000	143,958,317	△ 1,119,317	
差引	0	0	0	187,886	△ 187,886	

自主事業費収入	6,007,000		6,005,229		
自主事業費支出	8,122,000		6,244,254		
自主事業費収支	△ 2,115,000		△ 239,025		

管理許可・目的外使用許可収入	600,000		524,005		
管理許可・目的外使用許可支出	152,000		151,524		
管理許可・目的外使用許可収支	448,000		372,481		